

修士論文（要旨）

2014年1月

介護職向けストレス尺度の作成および介護職のメンタルヘルスに関わる要因の検討

指導 種市 康太郎 先生

心理学研究科
臨床心理学専攻
212J4007
佐藤 えりか

目次

1. 問題	1
2. 目的	1
3. 研究方法	1
4. 結果	2
5. 考察	2

引用文献

1. 問題

一般的に、対人援助職に携わる専門職は、他の職種に比べてストレスが大きいと言われている。その中で、高齢者を対象とする介護職は、近年の高齢社会の進展や介護保険の導入等によって介護が取り巻く環境が大きく変化し、それに伴い、介護専門職のストレスもまた拡大しつつあると予想される（高橋ら，2001）。

2. 目的

本研究は以下の3点を目的とする。1)一般的なストレッサー尺度と共に介護職特有のストレス内容の尺度を加え、介護職特有のストレッサーと、一般的な職業性のストレッサーの両方を測れるように尺度を構成し、2)介護職従事者の負担要因と健康状態の関連を把握し、それぞれのストレッサーとストレス反応の関連を検討する。3)従事者の個人属性を調査内容に含め、性別や年齢、職業年数などのそれぞれの属性におけるストレッサーの影響やストレス反応の関連を明らかとする。

3. 研究方法

3.1 調査対象 東京都多摩地区にあるデイサービスや短期入所サービスなどを含んだ高齢者介護施設（18施設）に勤める従事者890名調査票の配布対象とした。612名の調査票が回収され（回収率68.8%）、そのうち535名（女性383名、男性152名）から有効な回答が得られた。

3.2 手続きおよび調査期間 2013年11月から12月初めまでに留置式にて調査を実施した。

3.3 調査内容 (1)ストレッサー尺度：介護職のストレッサーを示す186項目の項目についてKJ法を行い、69項目を選定した。ヒアリング調査で収集されたストレッサーをもとに、5項目を追加した。さらに、一般職との比較を可能とするために、職業性ストレス簡易調査票において「要求度－コントロールモデル」を検討することが可能な「仕事の量的負担」「仕事のコントロール」に関する6項目を加え、計80項目からなる予備尺度を作成した。

(2)ストレス反応尺度：介護職および一般職においてよく現れるストレス反応の症状の19項目に、介護職において特に問題となっている離職意向に関する4項目を加えた。さらに職業性ストレス簡易調査票の「疲労」「不安」「抑うつ」の各3項目合計計9項目を追加し、計32項目からなる予備尺度を作成した。(3)基本属性では、性別、年齢、勤務年数、勤続年数、勤務形態、雇用形態、職種を尋ねた。

3.4 分析方法 (1)職業性ストレス簡易調査票の項目を除き、ストレッサー尺度の74項目、ストレス反応尺度の23項目のそれぞれに対して因子分析（最尤法・斜交解・プロマックス回転）を実施し、尺度の因子構造を明らかにした。また、作成されたストレッサー尺度と職業性ストレス簡易調査票のストレッサー尺度との相関、作成されたストレス反応尺度と職業性ストレス簡易調査票のストレスチェック3尺度との相関を検討することにより、併存的妥当性を検討した。(2)ストレッサー尺度とストレス反応の相関を検討し、ストレッサーとストレス反応の関連性を検討した。(3)介護職者の年齢、性別、雇用形態などの各属性において、ストレッサー尺度およびストレス反応尺度の得点を比較し、各属性の特徴を明らかにした。

4. 結果

因子分析の結果、ストレス反応尺度は「離職意向」「身体の不調感」「焦り」「怒り」「抑うつN」の5因子により構成された。一方、ストレッサー尺度は「介護業務の多さ」「労

働環境の不十分さ」「利用者と家族からの批判」「上司との関係の悪さ」「能力不足感」の5因子により構成された。(2)ストレスとストレス反応の関連では、ストレスの「介護業務の多さ」「上司との関係の悪さ」のストレスとストレス反応との間に比較的強い正の相関がみられ、これらのストレスとストレス反応の関連が強いことが明らかとなった。(3)従事者の個人属性の比較では、①男性は女性よりも「焦り」「怒り」、「疲労」「抑うつC」のストレス反応が高く、「能力不足感」のストレスを強く感じていること、②60代以上の介護職者は他の若い年代よりもストレス反応およびストレス得点が低いこと、③勤務年数・勤続年数が長くなるとストレス得点が高いこと、④勤務形態別では、ストレス反応およびストレス得点において施設・入所型、施設・通所型、訪問の順に高いこと、⑤常勤は非常勤よりストレス反応およびストレス得点が高いこと、⑥介護職は非介護職よりも「コントロール」が低いこと、が明らかとなった。

5. 考察

以上の結果を踏まえて必要なストレス低減対策を取ること、業務内容の改善や能力向上に向けた研修、事故やトラブルへの対応体制の構築、経営理念やケア方針についての説明機会の設定、組織整備の徹底を行うことは、介護職者のストレスの低減、ストレス反応の低減につながり、離職の予防に結びつくと考えられる。また、職場内の人間関係、特に上司との関係の悪さによるストレス刺激の低減、上司と部下間の関係を円滑にしていく対策を検討していくことはストレス軽減につながると考えられる。

また、今後の課題として、個人的要因に関して、入職時の動機による関連を質的研究によって検討することがあげられる。さらに、ソーシャルサポートなどの緩衝要因を組み込むことや、離職意向や継続意志と職務満足度の関連などの観点からも検討し、離職を防ぐ具体的な策を講じる必要があると考えられる。

引用文献

- 安次富郁哉 2011 介護保険施設介護職員の心身健康度 沖縄国際大学人間福祉研究,9,1-20.
- 畦地良平・小野寺敦志・遠藤忠 2006 介護職員の主観的ストレスに影響を与える要因—職業特性を中心とした検討— 老年社会科学,27,427-437.
- 藤井宏一 2009 介護分野における労働者確保等に関する研究から *Business Labor Trend*,11,3-5.
- 濱島淑恵・高木和美・芦田麗子 2013 看護・介護労働者の労働・健康・生活上の問題に関する聞き取り調査報告—特養Aにおける“介護”労働の継続意志の背景分析— 日本医療経済学会会報,30,44-69.
- 長谷川美貴子 2008 介護援助行為における感情労働の問題(人文・社会科学系) 淑徳短期大学研究紀要,47,117-134.
- 林隆司・小林聖美・鈴木康文・曾根幸喜・縄井清志・澤田和彦・佐藤和典・深谷隆史・関千代子・長島緑・池田潔・宮崎泰 2011 介護老人施設職員の職業性ストレス—リハビリテーション職・看護職・介護職・相談職の比較から— 医療保健学研究,2,43-63.
- 堀田聰子 2010 介護保険事業所(施設系)における介護職員のストレス軽減と雇用管理 季刊社会保障研究,46,50-163.
- 堀内ゆかり・志和恵・堀内雅弘 2010 特別養護老人ホームに勤務する介護職員の職業ストレスと精神的健康—勤務年数による影響— 心理科学部研究紀要,6,53-58.
- 鎌田大輔 2007 社会福祉施設職員用ストレス尺度の作成 福祉心理学研究,4,26-34.
- 厚生労働省 2009 介護サービス施設・事業所調査
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/24-22-2.html> 2014年1月5日確認.
- 厚生労働省 2013 介護人材の確保について
http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikans-hitsu_Shakaihoshoutantou/0000021718.pdf 2014年1月5日確認.
- 増原真砂子 2011 特別養護老人ホームにおける職場環境が介護職員に与える影響—コンピタンス心理学の視点から— JSCI 自立支援介護学,4,174-180.
- 松本佳代 2011 介護職員の職場環境と職務満足度および離職に関する考察 熊本大学医学部保健科学紀要,7,85-105.
- 三徳和子・森寛訓・矢野香代・小河孝則・長尾光城・森繁樹・簗輪眞澄 2008 施設における高齢者ケア従事者の職業性ストレス要因とその特徴 川崎医療福祉学会誌,18,121-128.
- 宮崎民雄 2008 高齢者施設介護職員の労働環境の整備—人材の定着・確保を促進する視点から— 老年社会科学,30,426-432.
- 中島朱美・原谷隆史 2005 医療・福祉従事者の職場ストレスとコーピング—対人援助を業とする職域間・職種間比較— 介護福祉学,12, 63-73.
- 小川まどか・長田久雄 2007 介護職のストレスと健康度との関連 健康心理学研究,20,10-17.

- 労働安全衛生総合研究所 2010 ストレスに関連する症状・不調として確認することが適当な項目等に関する調査研究報告書
http://www.jniosh.go.jp/results/2010/1129/pdf/report_stress_101129.pdf 2014年1月5日確認
- 首相官邸緊急雇用推進チーム 2010 実践キャリア・アップ制度専門タスク・フォース介護人材ワーキング・グループ第1回会合
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kinkyukoyou/suisinteam/TF/kaigo_dai1/siryou5.pdf 2014年1月5日確認
- 高橋美岐子・藤沢緑子・佐藤沙織・佐藤怜 2001 介護専門職のストレスの現状と課題—特別養護老人ホーム介護職員のストレス要因体験頻度の分析から— 日本赤十字秋田短気大学紀要,6,61-68.
- 種市康太郎 2012 第13章職場とストレス 石丸昌彦 今日のメンタルヘルス 放送大学教育振興会 192-207.
- 田尾雅雄 2005 管理職の役割変化とストレス 日本労働研究雑誌,545,29-39.
- 植北康嗣 2010 介護労働環境整備と離職率の関係についての一考察 四條畷学園短期大学紀要,43,34-40.
- 山頭照美・飛永高秀・山田幸子・松永公隆・大杉あゆみ 2012 高齢者福祉施設における介護職員の「職務満足」と「職場でのストレス」に関する調査研究 純心現代福祉研究,16,1-20.
- 矢富直美・中谷陽明・巻田ふき 1991 老人介護スタッフのストレス評価尺度の開発 社会老年学,34,49-59.
- 横山さつき 2012 高齢者介護における組織的な職業性ストレス対策の試みとその評価 中部学院大学・中部学院短期大学部研究紀要,13,171-179.
- 吉田和夫・水野利英・車井浩子 2012 介護労働の特性と介護労働者の離職意向 商大論集,63,203-225.